



九州歯科大学 図書館だより NO.100

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。講義室や図書館は閉鎖的な空間で、感染の場となりやすい環境です。普段からマスクをするなど咳エチケットを心がけ、咳やくしゃみを他の人に向けて発しないよう注意をはらいましょう。

図書館運営部会 臼井 通彦



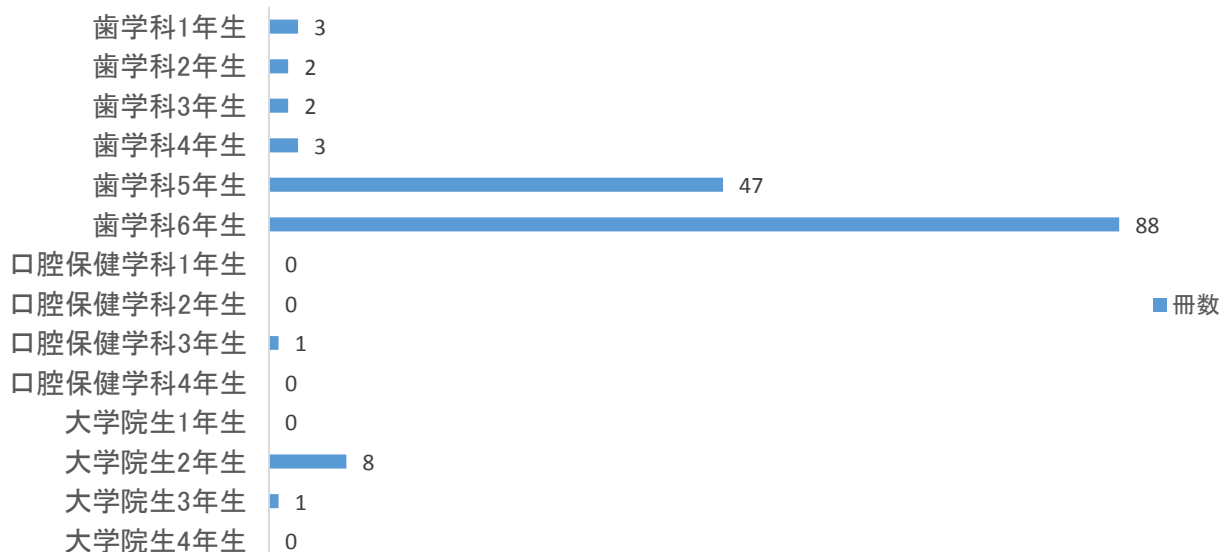
貸出ランキング

2018.9



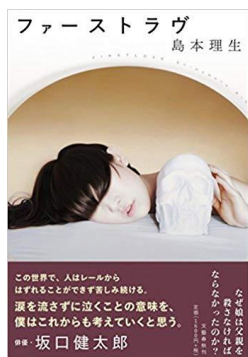
- 1位 口腔外科学 第3版, 白砂兼光, 古郷幹彦編
- 2位 標準口腔外科学 第3版, 野間弘康 [ほか] 編/瀬戸皖一 [ほか] 執筆
- 3位 外科・放射/口腔外科学 歯科放射線学 歯科麻酔学 2018 (歯科医師国家試験参考書: New text:6), 麻布デンタルアカデミー編
- 4位 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎, 竹澤保政著
- 5位 口腔外科の疾患と治療: SIMPLE TEXT 第3版, 栗田賢一, 覚道健治編集/覚道健治 [ほか] 執筆
- 6位 最新口腔外科学 第4版 各論, 榎本昭二 [ほか] 編
- 7位 外科・放射/口腔外科学 歯科放射線学 歯科麻酔学 2017 (歯科医師国家試験参考書: New text:6), 麻布デンタルアカデミー編
- 8位 現代歯科薬理学 第3版, 加藤有三, 篠田壽編集
- 9位 図説口腔外科手術学 下巻, 大谷隆俊, 園山 昇, 高橋庄二郎編
- 10位 老年歯科医学, 森戸光彦 [ほか] 編

貸出冊数(9月)



新着図書

タイトル	著者名
デジタル対応で学ぶ! 歯科医師・歯科技工士必携シェードテイキング超入門 (Quintessence of dental technology:別冊)	相羽直樹, 青島徹児, 伊藤竜馬, 岩崎智幸, 瓜坂達也, 小田中康裕著
歯科ナビ: 歯科医師国家試験対策テキスト 第2版	東京メディカルスクール編著
精鋭問題集: 歯学部を進級・CBT・歯科医師国家試験対策	岩脇清一著/東京メディカルスクール編著
歯科医療管理: 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために 新版	日本歯科医療管理学会編
セルフケアの本 (デンタルハイジーン:別冊)	佐藤聡, 両角祐子, 小牧令二編著
原民喜: 死と愛と孤独の肖像 (岩波新書:新赤版 1727)	梯久美子著
異端の時代: 正統のかたちを求めて (岩波新書:新赤版 1732)	森本あんり著
虚偽自白を読み解く (岩波新書:新赤版 1733)	浜田寿美男著
江戸東京の明治維新 (岩波新書:新赤版 1734)	横山百合子著
初期仏教: ブッタの思想をたどる (岩波新書:新赤版 1735)	馬場紀寿著
トランプのアメリカに住む (岩波新書:新赤版 1736)	吉見俊哉著
日本の税金 第3版 (岩波新書:新赤版 1737)	三木義一著
ルイ・アルチュセール: 行方不明者の哲学 (岩波新書:新赤版 1738)	市田良彦著
まちづくり都市金沢 (岩波新書:新赤版 1739)	山出保著
ラプラスの魔女	東野 圭吾 著
1分で話せ	伊藤 羊一 著
学びを結果に変えるアウトプット大全	樺沢 紫苑 著
スタンフォード式疲れない体	山田 知生 著
かがみの孤城	辻村 深月 著
さざなみのよる	木皿 泉 著
できる人は必ず持っている一流の気くばり力	安田 正 著
下町ロケット ゴースト	池井戸 潤 著
きげんのいいリス	T. テレヘン 著
ハリネズミの願い	T. テレヘン 著
暗幕のゲルニカ	原田 マハ 著
火のないところに煙は	芦沢 央 著
大家さんと僕	矢部 太郎 著
屍人荘の殺人	今村 昌弘 著
ペンギンうらない	坂崎 千春 著
ファーストラヴ	島本 理生 著



『ファーストラヴ』 島本 理生

第159回直木賞受賞作

女子大生・聖山環菜は就職活動の最中で、その面接の帰りに、父親の勤務先である美術学校に立ち寄り、あらかじめ購入していた包丁で父親を刺殺した。多摩川沿いを血まみれで歩いていた彼女は逮捕された。夏の日の方の出来事だった。彼女的美貌も相まって、この事件はマスコミで大きく取り上げられた。どうして彼女は父親を殺さなければならなかったのか？この事件を題材としたノンフィクションの執筆を依頼された臨床心理士の真壁由紀は、環菜やその周辺の人々と面会を重ねることになる。そこから浮かび上がってくる、環菜の過去とは？「家族」という名の迷宮を描く長編小説です。

『かがみの孤城』 辻村 深月

2018年本屋大賞 大賞

学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、「あなたを、助けたい。」と、突然部屋の鏡が光り始め、輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどころと似た境遇の7人がいた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれます。生きづらさを感じている現代のすべての人に贈る物語。一気読み必至です。

